

刊行にあたって

日常の臨床においては往々にして、「もう少しこの歯の位置を動かせれば」、「この部分の叢生がなければいいのに」などと思う場面に遭遇します。LOT（部分矯正）はこのようなときに極めて有効な手段となり得ます。

とはいえ、日常の臨床に多忙な一般歯科医師にとって、LOTの習得に割く時間は限られたものにならざるを得ないのが現状です。また、「既存の矯正歯科の教科書や実習書を読んでみても、具体的な記載が乏しく、実際にどのように装置を装着して歯を動かしたらよいかわからない」、「専門用語が多いため学習意欲が削がれる」との意見をうかがうことが多いのも事実です。

本書は、そんな一般歯科医師のために、できるかぎり効率的に、またなるべく専門用語は使用せずに、知識および技術の習得が行えるように考えて編集いたしました。効率的な学習のために、本書においては下記の事項に留意して使用されることをお勧めします。

1. 臨床においてはさまざまな不正咬合が存在しますが、なかでも多く遭遇し一般歯科医師においても十分に対応可能なケースとして、10種類の不正咬合をターゲットとしました。
2. 今回選出した10種類の不正咬合のなかにも、当然のことながら難易度が存在します。難易度の判定としてわかりやすく★で表記しました。すなわち、★（もっとも簡単なケース）～★★★★（最も難しいケース）とお考えのうえ、ご使用ください。
3. 1種類の治療方法ですべてのケースに対応できるわけではありません。そのため、本書においては各不正咬合に対する治療方法として複数の方法が記載されています。各方法の適応や利点・欠点などについても説明を加えておりますので、熟読のうえ選択してください。

本書が先生方の臨床の一助になれば、また、最終的に患者さんの幸福に繋がるならば、これほどの喜びはありません。

2019年9月
編集委員一同